

シラバス

教科【 国語 】 科目【 国語表現 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
国語	国語表現	3	4	普通	選択	国語表現 改訂版(教育出版)

1 学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	30%
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	25%
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	25%
読む能力		
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	20%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	文章表現の基礎	・ 文字の表記からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力について学ぶ。	
	人とつながる言葉	・ ことばの性質やことばと人間とのかかわりについて理解し、言語生活や具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする認識を養う。	
	面接－社会との接点	・ 自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習をとおして、社会への参加能力を身に付ける。	
	小論文	・ 文章の「型」を各種のトレーニング通して習得し、論理的文章を書くための基礎力を身に付ける。	
	言葉を届ける	・ 手紙の形式を学び、場面に応じた言葉の意味について理解を深める。	
後期	プレゼンテーションの方法	・ 情報の視覚化の方法を知り、それらを効果的に用いてプレゼンテーションを行う。	
	話し合いの方法	・ 目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。	
	エッセイを書く	・ 読者を意識し、手法を工夫したエッセイを書く。	
	物語を作る	・ さまざまな手法によって、物語の作成を楽しむ。	
	メディア・リテラシー	・ 身の回りのさまざまなメディアについて知り、それぞれの特性をふまえた情報発信とその社会的意味について認識を深める。	

4 学習の留意点

「国語表現」では、自分の「考えていること」を相手にわかってもらい、相手の思っていることもわかるためには、どのように表現したらいいか、そのための道筋を学びます。それぞれの活動に一人ひとりが積極的・主体的に取り組むことによって、達成感を味わうことができるはずです。さらに一人ひとりが、教室の外の世界に積極的に目を向けて、他の社会・文化への共感をあわせ持ち、やがては響き合う社会の創造をめざすことを切望します。

シラバス

教科【 国語 】 科目【 現代文B 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
国語	現代文B	3	4	普通	選択	高等学校 改訂版 標準現代文B (第一学習社)

1 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	30%
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	10%
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	10%
読む能力	近代以降の文章を適切に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	25%
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	25%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	随想	「私」という「自分」 鷺沢萌	
	現代短編小説	「デューク」 江國香織	
	近代短編小説	「鼻」 芥川龍之介	
	評論	「ヒトはなぜヒトになったか」 長谷川真理子	
	言語活動	「情報の探し方」「研究発表のしかた」	
後期	随想	「コミュニケーションの文化」 平田オリザ	
	現代長編小説	「バグダッドの靴磨き」 米原万里	
	評論	「折々のうた」 大岡信	
	近代詩	「こころ」 萩原朔太郎	
	現代詩	「日本海」 草野心平	
	言語活動	「創作の楽しみ・短歌と俳句」	

4 学習の留意点

・評価は、授業に取り組む真摯な態度を重視します。
・授業に真剣に取り組む、さまざまなものの見方、考え方、感じ方を学び、偏らない視点で主体的に物事をとらえることのできる判断力、幅広い人間性を培いましょう。

シラバス

教科【 国語 】科目【 古典A 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
国語	古典A	2	4	普通	選択	高等学校 改訂版 標準古典A 物語選

1 学習目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。	30%
話す・聞く能力	古典朗読を的確に聞き取ったり、自分の考えをまとめて分かりやすく話したりすることができる。	10%
書く能力	古典を正確に書写したり、口語訳や感想を分かりやすく書いたりすることができる。	10%
読む能力	古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。	25%
知識・理解	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。	25%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	「十訓抄」 「古今著聞集」 「徒然草」 「枕草子」 「故事・寓話」 「漢詩の鑑賞」	<ul style="list-style-type: none"> 比較的小さい説話を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて考察する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 短めの文章を読んで漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 漢詩の表現の美しさを味わう。 	
後期	「伊勢物語」 「古今和歌集」 「平家物語」 「源氏物語」 「項羽と劉邦」 「諸家の思想」	<ul style="list-style-type: none"> 比較的小さい歌物語を読んで、古文に親しむ。 和歌の優れた表現に親しむ。 軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 長編物語を読んで、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 長めの文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 中国の主要な思想である儒家・道家・法家の主張の概要を理解する。 	

4 学習の留意点

「古典A」は、「国語総合」で学んだ古典の基礎を発展させ、我が国の伝統と文化に対する関心を深める科目です。我が国の代表的な古典作品の文章を読み、人間や社会・自然などについて、自分の考えを深めたり発展させたりする契機にしましょう。また、語句の意味・用法や文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辭などの表現上の特色を捉えることができるようにしましょう。

シラバス

教科【 地理歴史 】 科目【 日本史A 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
地理歴史	日本史A	2	4	普通	選択	日本史A最新版(清水書院)

1 学習目標

近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	学習への取り組みが意欲的で積極的である。教科書・ノートを活用している。	30%
思考・判断・表現	近現代史の知識をふまえ、現代世界の課題を歴史的視点から多面的に考察し、公正な判断ができる。	20%
資料活用の技能	近現代史の理解に有用な資料・情報を主体的に活用し、歴史的事象を追及する方法を身につけている。	20%
知識・理解	近現代史の大きな枠組みと流れを、日本を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	30%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	・近代日本の形成と19世紀の社会	・文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸制度の改革にともなう社会・文化の変化に着目して、開国、明治維新から自由民権運動を経て立憲体制が成立するまでの我が国の近代国家の形成について理解する。 ・条約改正や日清・日露戦争前後の欧米諸国やアジア近隣諸国との関係の変化及び産業革命の進行に着目して我が国の対外政策の推移と近代産業の成立について理解する。	
後期	・近代日本の歩みと国際関係 ・第二次世界大戦の日本と世界	・政党政治の展開と大衆文化の形成、資本主義の発達と国民生活の変化、第一次世界大戦前後から第二次世界大戦終結にいたる内外情勢の変化について、国際情勢に留意し世界的視野から考察する。 ・第二次世界大戦後の国際関係の推移に着目して、占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立など、我が国の再出発及びその後の政治の推移と新しい外交関係の確立について考察する。 ・70年代以降の世界経済の変容、東西関係の変遷と冷戦体制の終結などを中心に概観しながら、現代世界の動向と日本の課題及び役割について学習する。	

4 学習の留意点

- ・定期考査の成績だけでなく、授業に取り組む真面目な姿勢も評価する。そのために、授業プリントの活用、出席状況、意見発表、レポート作成、作業なども評価の対象とする。
- ・我が国の歴史の展開を、世界の中の日本という視点から理解させる。また、細かな事象や高度な事項には深入りしないことに留意する。
- ・定期考査の成績だけではなく、日頃の授業に取り組む真摯な態度も評価する。従って、ノートやプリントの活用、出席状況、意見発表、レポート作成、作業なども評価の対象とする。
- ・社会的事象や歴史的事象は相互に関連しあっていることに留意し、社会的事象や歴史的事象に対する興味や関心を持って、多様な角度から考察し、様々な資料や教材を活用して、主体的に学習に取り組む。

シラバス

教科【 地理歴史 】 科目【 日本史B 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
地理歴史科	日本史B	3	4	普通科	選択	詳説日本史 改訂版(山川出版)

1 学習目標

我が国の歴史の展開を、歴史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際的環境などに関連づけて考察させることによって、歴史的思考力を培い、日本国民としての自覚と、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	学習への取り組みが意欲的で積極的である。授業中に、意見発表を通して、主体的に学習に参加している。教科書やノートを十分に活用している。	30%
思考・判断・表現	各時代の歴史を、世界の歴史と関連づけて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果やその後の歴史への影響について、判断し、表現することができる。	20%
資料活用の技能	各時代の歴史に関する様々な資料を収集し世界の歴史と関連づけながら、有用な情報を選択して、今後の日本の進路について考察することにつなげている。	20%
知識・理解	歴史の理解を単なる知識の習得のレベルに止めず、習得した知識を統合して、現代の諸課題を分析し、人類の未来を展望することにつなげていくことができている。	30%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1部 原始・古代	・原始社会の特色及び古代国家の社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察する。	
	第2部 中世	・中世国家の成立から戦国時代までを学び、中世がどのような時代であったかを、東アジア世界の動向と関連づけて、総合的に考察する。	
後期	第3部 近世	・安土桃山時代及び江戸時代について学び、近世がどのような時代であったかを、国際環境と関連づけて、総合的に考察する。	
	第4部 近代・現代	・ペリー来航から、明治・大正・昭和を経て、平成の現代に至るまで、国際環境と関連づけて、総合的に考察し、世界における日本の立場についての理解と認識を深める。	

4 学習の留意点

- ・定期考査の成績だけではなく、日頃の授業に取り組む真摯な態度も評価する。従って、ノートやプリントの活用、出席状況、意見発表、レポート作成、作業なども評価の対象とする。
- ・社会的事象や歴史的事象は相互に関連しあっていることに留意し、社会的事象や歴史的事象に対する興味や関心を持って、多様な角度から考察し、様々な資料や教材を活用して、主体的に学習に取り組む。

シラバス

教科【 公民 】科目【 倫理 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
公民科	倫理	2	4	普通科	選択	高等学校 新倫理 新訂版(清水書院)

1 学習目標

- 1 良識ある公民として必要な能力と態度を育む。
- 2 自己形成の課題や人間としての在り方や生き方についての理解と思索を深めさせる。
- 3 人生に関わる諸問題についての探求を深め、自己の確立を目指す。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	学習への取り組みが意欲的で積極的である。授業中に、意見発表を通して、主体的に学習に参加している。教科書やノートを十分に活用している。	30%
思考・判断・表現	現代に生きる人間の倫理的な課題についての思索を深め、自己の生き方の確立に努め、国際社会に主体的に貢献しようとしている。	20%
資料活用の技能	多くの資料や先哲の言葉を活用して、自らの人格の形成の手がかりとし、生きた知識として取り入れることができている。	20%
知識・理解	広い視野を持って、様々な思想や文化や宗教について理解し、異なる文化や習慣や価値観を持った人々について理解し、共生していくよう努めることができている。	30%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1章 青年期の課題と自己形成	・生きることの意味について、いろいろな視点から考え、今後の自分の生き方に活かす知識として身につける。	
	第2章 人間としての自覚	・古代ギリシャの思想やキリスト教やイスラム教や仏教や古代中国の思想を基にして、人間の生き方について考察する。	
	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	・日本の風土と関連づけながら、日本人の精神的特性について考察する。	
後期	第4章 現代に生きる人間の倫理	・人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、人間の尊厳を自覚することの意義について考察する。	
	第5章 現代の諸課題と倫理	・現代の諸課題と倫理について、探究した結果を文章にまとめたり、お互いに意見交換したりして、適切に表現しながら、問題解決の方法について、考察する。	

4 学習の留意点

- ・定期考査の成績だけでなく、日頃の授業に取り組む真摯な態度も評価する。従って、ノートやプリントの活用、出席状況、意見発表、レポート作成、作業なども評価の対象とする。
- ・社会的事象や歴史的事象は相互に関連しあっていることに留意し、社会的事象や歴史的事象に対する興味や関心を持って、多様な角度から考察し、様々な資料や教材を活用して、主体的に学習に取り組む。

シラバス

教科【 公民 】科目【 政治・経済 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
公民科	政治・経済	2	4	普通科	選択	高等学校 現代政治・経済 最新版(清水書院)

1 学習目標

- 1 良識ある公民として必要な能力と態度を育む。
- 2 政治の仕組みや経済の状況を見極め、現代人として生きるために必要な知識を理解する。
- 3 現代における政治や経済や国際関係を客観的に理解させ、自らの視野を広げる。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	学習への取り組みが意欲的で積極的である。授業中に、意見発表を通して、主体的に学習に参加している。教科書やノートを十分に活用している。	30%
思考・判断・表現	基本的な政治と経済の状況を理解し、国際社会における日本の立場と役割について考えることができている。	20%
資料活用の技能	多様で複雑な現代の国際社会において、主体的に多くの資料や情報を収集し、その情報を自分なりにまとめ、今後の日本の進路について考察することができている。	20%
知識・理解	政治の仕組みや経済の状況について理解し、現代の国際社会において日本の果たすべき役割について考察することができている。	30%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1章 現代の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の特質を把握しながら、政治と私たちの関わりについて理解する。 ・基本的人権がどのように確立し、広がっていったのかについて理解する。 ・国際社会に関する問題について、日本が貢献できることについて考察する。 	
後期	第2章 現代の経済	<ul style="list-style-type: none"> ・経済に関する基本的な概念や理論について理解する。 	
	第3章 現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸課題について、政治や経済との関連等に留意しながら、様々な角度(視点)から考察し、出来るだけ客観的な立場に立って、望ましい解決の在り方について検討する。 	

4 学習の留意点

- ・定期考査の成績だけではなく、日頃の授業に取り組む真摯な態度も評価する。従って、ノートやプリントの活用、出席状況、意見発表、レポート作成、作業なども評価の対象とする。
- ・社会的事象や歴史的事象は相互に関連しあっていることに留意し、社会的事象や歴史的事象に対する興味や関心を持って、多様な角度から考察し、様々な資料や教材を活用して、主体的に学習に取り組む。

シラバス

教科【 数学 】科目【 数学Ⅱ 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
数学	数学Ⅱ	3	4	普通	選択	新高校の数学Ⅱ(数研出版)

4 学習の留意点

図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分法と積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	学習への取り組みが意欲的で積極的である。 教科書、ノートを活用している。	30%
数学的な見方や考え方	平面上の直線や円、色々な関数について様々なことを読み取ることができる。導関数の意味、定積分と面積の関係性などを理解することができる。	10%
表現処理	示された図形の方程式を求めることができる。色々な関数をグラフに書くことができる。接線の方程式や曲線に囲まれた面積を求めることができる。	10%
知識・理解	各章の事項について意味を理解し、方程式、関数、微積分について基礎的な知識を身につけている。	50%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考	
前期	図形と方程式	<ul style="list-style-type: none"> 直線上の点と距離 直線の方程式 円と直線 	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点と距離 円の方程式 不等式と領域 	
	三角関数	<ul style="list-style-type: none"> 三角比 三角関数の相互関係 加法定理 	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数 三角関数のグラフ 	
	指数関数	<ul style="list-style-type: none"> 指数法則 累乗根 	<ul style="list-style-type: none"> 指数の拡張 指数関数のグラフ 	
後期	対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 対数 対数関数のグラフ 	<ul style="list-style-type: none"> 対数の性質 	
	微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率 接線 関数の極大値、極小値 不定積分 定積分と面積 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数、導関数 関数の増減 関数の最大値、最小値 定積分 定積分面積の計算 	

4 学習の留意点

学習への取り組み、基礎的な知識の習得と理解、技能の習熟等を総合的に評価する。

シラバス 教科【理科】科目【生物基礎】

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書（出版社）
理科	生物基礎	2	4	普通科	選択	新編生物基礎（啓林館）

1 学習目標

生物的な事物・現象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。また、日常生活で化学に対する疑問を持つことができ、疑問と授業の内容を結びつけることができるようになることを目指す。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	生物に関する日常生活の事物・現象に関心や疑問をもち、関心や疑問を解決したい、知りたいと思う態度で休まず授業に参加できている。	30%
思考・判断・表現	積極的に生物や授業内容に対する疑問を自分の言葉で発言し、日常ではあまり使わない理科用語や計算にも諦めずに取り組むことができる。	15%
観察・実験の技能	観察・実験の技能を習得し、慎重かつ丁寧に観察・実験を進めることができる。積極的な観察・実験への参加姿勢を評価する。	15%
知識・理解	現代の人間生活と化学の関連性についての知識を身に付け、生物の基本的な概念や原理・法則を理解することができている。	40%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の特徴 ○遺伝子とその働き 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性と多様性について学ぶ。 ・細胞の構造の共通性と多様性について学ぶ。 ・生命活動とエネルギーの関係や光合成と呼吸の仕組み、葉緑体とミトコンドリアの起源についても学ぶ。 ・遺伝子やDNAの構造、ゲノムについて学ぶ。 ・遺伝子情報とタンパク質の合成についても学ぶ。 	
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の体内環境の維持 ○生物の多様性と生態系 	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性とは何か。体液とその働き・循環について学ぶ。 ・体内環境の維持について、ホルモンや自律神経による調節、血糖濃度の調節などについて学ぶ。 ・生体防御、体液性免疫、細胞性免疫について学ぶ。 ・生態系と生態系のバランスと保全について学ぶ。 	

4 学習の留意点

- 自然科学に関心を持ち、毎時間の授業に参加し、地道に努力する姿勢を最も大切にする。
- 成績は期末テスト、授業態度、実験、ノート、出席等を考慮して決定する。

令和6年度 シラバス

教科【 体育 】 科目【 体育 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
体育	体育	2	4	全学科	必履修	現代高等保健体育(大修館)

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	体づくり運動	● 体づくり運動(体ほぐしの運動 / 実生活に生かす運動の計画) ※ 新体力テストを含む	
	選択Ⅰ	● 選択Ⅰ(球技:バドミントン) ※ 球技(ネット型)	
	選択Ⅱ	● 選択Ⅱ(陸上) ※ 陸上(持久走)	
後期	選択球技Ⅲ	● 選択Ⅲ(球技:ミニバレーボール) ※ 球技(ネット型)	
	選択球技Ⅳ	● 選択Ⅳ(球技:卓球・フットベースボール) ※ 球技(ネット型・ベース型)	

4 学習の留意点

授業観察、ノート・ワークシート、課題レポート、小テスト、単元テスト、考査等を基に総合的に評価する。

シラバス 教科【外国語】科目【コミュニケーション英語Ⅲ】

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書（出版社）
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	3	4	普通	選択	All Aboard! English CommunicationⅢ(東京書籍)

1 学習目標

<p>1. 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>2. 日常的な話題について、英語で聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。</p>
--

2 学習評価規準

知識・技能	外国語の音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどについて理解を深め、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことにおいて、目的や場面・状況などに応じて適切に使用できる技能を身につけている。
思考・判断・表現	目的や場面・状況に応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で概念や要点を理解できる。話し手や書き手の意図を理解でき、また適切に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとしている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考	
通 年	前 期	Lesson 1 Mystery Circles under the Sea	アマミホシゾラフグの生態について読み、その特徴を学ぶ (動詞の現在形・過去形)	
		Lesson 2 Gifts to Barcelona	ガウディのデザインによるユニークな建築物の特徴とバルセロナにおけるそれらの意味について学ぶ(現在完了形)	
		Lesson 3 Images on Coins	硬貨・紙幣のデザインを通してその国や地域を象徴するものについて学ぶ (不定詞・動名詞)	
		Lesson 4 Witnesses of War	広島で戦争中に路面電車の運転手となった女子学生、幸子さんの経験について学び、路面電車が広島の復興に果たした役割について考える(受け身)	
		Lesson 5 Love Letters	手書きの手紙を送るハナさんの取り組みについて学ぶ (関係代名詞)	
	後 期	Lesson 6 The Natural Treasures of Ogasawara	世界自然遺産に登録された小笠原諸島の現状と直面する問題について学ぶ (仮定法過去)	
		Lesson 7 The Terracotta Warriors	秦の始皇帝と彼が作らせた兵馬俑の謎について学ぶ (関係代名詞)	
		Lesson 8 The Journey of Our Clothes	普段身につけている洋服がどこから来たのか考え、また、エシカル・ファッションについて学ぶ(後置修飾の分詞)	
		Lesson 9 Challengers for the Future	エネルギー問題について日本と中米の国コスタリカを比較しながら学ぶ (比較表現)	
		Lesson 10 The Story of Ruby Bridges	アメリカの公民権運動の象徴のひとつとなったルビー・ブリッジズさんについて学ぶ(分詞構文)	

4 学習の留意点

各考査の成績、ワークシートなどの提出物、発表、出席状況、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。
--

シラバス 教科【フードデザイン】 科目【フードデザイン】

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書(出版社)
家庭	フードデザイン	2	4	普通	選択	フードデザイン cooking arrangement (教図出版)

1 学習目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、実習を通し、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	食生活に関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、食事を総合的にデザインしようとする実践的な態度を身につけている。	30%
思考・判断・表現	食事を総合的にデザインすることを目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫をする能力を身につけている。	20%
技能	食事を総合的にデザインすることを目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫をする能力を身につけている。	20%
知識・理解	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身につけ、食事の意義と役割や豊かな食事について総合的に理解している。	30%

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の変化と現状 ・よりよい食生活を創造する。 ・なぜ食物が必要なのか ・健康に必要な栄養素について ・調理の基本 ・献立作成 ・調理実習 ・テーブルコーディネート ・テーブルマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・食の外部化・社会化について理解する。 ・食生活の多様化について理解する。 ・食品加工の方法と特徴について理解する。 ・摂取量の目安を理解し、日常食の献立作成する力を身につける。 ・日常食の調理に必要な知識と技術を身につける。 ・食材や調理器具の管理、取り扱い方について理解する。 ・出し汁の取り方と味付け、野菜の切り方について確認する。 ・行事食を作り、食生活の充実・向上を図る。 ・食事の目的に応じて、食器の選択や盛りつけ方を工夫する態度を身につける。 ・日常食の調理に必要な知識と技術を身につける。 	

4 学習の留意点

- ・ 日々の授業、実習に取り組む態度を重視します。
- ・ 課題の提出、実習時の正しい着装(エプロン、三角巾等)を重視します。
- ・ 衛生面、安全面に気をつけましょう。